

【第1号】

恵那南地区統合中学校準備委員会だより

発行：令和5年6月6日

発行者：恵那市教育委員会

学校統合準備室 26-2111

https://www.city.ena.lg.jp/soshikiichiran/kyoikuiinkai/kyoikusomuka/4_1/11423.html

恵那市教育委員会では、令和5年5月31日に「恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会」を立ち上げました。令和8年4月開校を目指し検討を進めてまいります。

★恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会

委員：69名

日時 令和5年5月31日(水) 午後7時から9時半

場所 岩村コミュニティセンター 大ホール

○理事会 20名

委員長(理事長):西尾 公男 氏

副委員長(副理事長):杉山 淳 氏

(議事)

「めざす恵那南地区統合中学校の姿」について

○総務部会 19名

部会長:原田 英明 氏

副部会長:安藤 一博 氏

(検討内容)

校名、校歌、校章、校訓、制服・かばん・体操服・上履き等、開校式典・閉校式典の準備等

○環境整備・PTA・コミスク部会 22名

部会長:若森 慶隆 氏

副部会長:安藤 常雄 氏

(検討内容)

校舎の増築・通学路の安全対策、スクールバスの運行、部活動、PTA組織運営等

○教育活動・学校事務部会 22名

部会長:篠原 徹 氏

副部会長:市岡 早苗 氏

(検討内容)

教育課程、教育内容、学校行事、生徒会、交流事業、学校備品、学校図書等

各団体の皆様、委員の
選出にあたいご協力に
感謝いたします！



※学校統合準備室よりお知らせ

- ①今後、準備委員会及び各専門部会の経過については順次報告をさせていただきます。
- ②恵那南地区統合中学校について、ご意見等がございましたら、下記、学校統合準備室へお寄せください。

(学校統合準備室)

場所:恵那市役所 教育委員会事務局内

電話:26-2111(内線462・465)

E:mail kyoikusoumu@city.ena.lg.jp



○理事会:議案審議○

※委員会には、事務局から下記の「めざす恵那南地区統合中学校の姿(案)」について提案し、委員の皆様からご意見をいただきましたので、次回の理事会に修正案を提示し、再度協議する予定です。

めざす恵那南地区統合中学校の姿(案)

未来をつくる 人とつながる 地域とあゆむ

未来をつくる

夢をもち、努力 できる生徒

- ・物事を前向きに受け止め、目標に向かい粘り強くやり抜く生徒
- ・確かな学力、豊かな心、たくましい体が将来の礎になることを自覚し、ひたむきに努力する生徒

- ・ICTを活用した個別最適学習
- ・多様な意見・考えに出会い、深まる授業
- ・心身の健康を育む道徳教育・健康教育

予測困難な未来を切り
開く力を培う学校

人とつながる

人との関わりの 中で育つ生徒

- ・積極的にコミュニケーションを図り見方・考え方を深める生徒
- ・人とのかかわりの中で、自分や集団を高められる生徒

- ・切磋琢磨できる生徒会・学校行事
- ・対話と協働のある授業
- ・ICTを活用した遠隔教育活動

多様な人と関わりながら
学べる学校

地域とあゆむ

地域を知り、活躍 できる生徒

- ・地域の歴史や文化を知り、地域に親しみをもつ生徒
- ・地域の一員として、関心を持ち、積極的に関わる生徒

- ・地域を知る活動
- ・地域へ発信する活動
- ・地域に参加する活動

地域とつながり
郷土愛を育む学校

【環境整備】

- ・SDGsを意識した環境配慮型の校舎
- ・集いが生まれるデジタル融合学校図書館
- ・生徒交流が活発になる交流スペース
- ・多様な生徒に配慮した校舎
- ・地域の方も利用できる施設
- ・地域の歴史・文化が位置づく校舎

★専門部会での主なご意見★

- ・資料の事前配布をして欲しい。
- ・会議内容を「すぐる」等のツールを使い、早く情報を伝えてほしい。
- ・今までの説明で納得できないこともあるので、この委員会で理解していきたい。
- ・PTAは代表として保護者の意見を聞き伝えることが大事。地域の方が中立の立場で意見をまとめてくれるとよい。
- ・コンセプトは決まりなのか。

★理事会での主なご意見★

- ・統合という問題は、子どもの教育環境をよくすることが大切。ある程度人数のいる学校で切磋琢磨していけるような環境を作っていくことが将来の子どものためになると思う。
- ・目指す学校の姿についてですが、目指す姿という所は一番大事なところだと思います。立ち止まったときに戻っていく大事なところだと思う。
- ・恵那南地区統合中学校ならではのスローガンを打ち出すとよい。
- ・ここにきて、反対を促すような看板が非常に多く目につくようになった。今、非常に子どもたちが怖がっています。わだかまりを無くして、気持ちよく参加したいと思っています。

◆理事会の最後には、アドバイザーの岐阜聖徳学園大学 福地准教授よりコメントをいただきました。